

令和5年9月25日

新・消防ヘリコプター1号機「ゆりかもめ」 就航式の開催について

消防局では、消防航空体制の強化による「安全・安心のまちづくり」を更に推進するため、消防ヘリコプター1号機「ゆりかもめ」を更新し、令和5年10月9日から運航を開始します。

つきましては、下記のとおり就航式を行いますので取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 日時

令和5年10月2日(月) 13時30分 ~ 14時10分

就航式終了後、14時15分頃から報道関係者の皆様を対象に、機体の説明を行います。

2 会場

福岡市消防航空隊庁舎(所在地:福岡市東区大字奈多字小瀬抜1302の47 奈多ヘリポート内)

※別紙参照

3 出席予定者

福岡市長

4 就航式概要

- ・市長から消防航空隊への訓示
- ・市長フライト

5 その他

消防航空隊庁舎前の駐車スペースには限りがあります。満車の場合は、雁ノ巣レクリエーションセンター内の有料駐車場をご利用ください。



新・消防ヘリコプターの紹介



- ▼機体
BK117D-3
(川崎重工業株式会社製)
- ▼愛称
「ゆりかもめ」(現行機継承)
- ▼運航開始
令和5年10月9日～

新・消防ヘリコプターの性能向上について

- ・エンジンがパワーアップしたことにより、ホバリング性能が向上し、活動能力・安全性が向上しました。
- ・自動操縦装置(オートパイロット装置)の高機能化や対地接近警報装置が新たに装備され、安全性が向上しました。
- ・救急車と同じく、傷病者をストレッチャーに乗せたまま、機体後方から機内に収容することができます。活動時間の短縮に繋がります。
- ・ヘリテレカメラは、煙を透過し撮影できる新しい機能が追加され、火災の燃焼状況をより詳細に把握することができます。

主な装備紹介



■ホイスト装置
隊員の吊り下ろしや要救助者の吊り上げに使用します。



■ヘリテレカメラ
上空からの災害映像を指令センターに送信します。



■スピーカー
上空からの避難誘導など広報活動に使用します。



■救急資機材
傷病者の搬送など救急活動に使用します。傷病者をストレッチャーに乗せたまま、機体後方から機内に収容することができます。(新機能)



消防航空隊基地までのアクセスについて

航空管制部前バス停

海の中道

丁字路信号を左折

JR雁ノ巣駅

雁の巣レクリエーションセンター

福岡航空交通管制部

消防航空隊基地

【車の場合】
都市高速アイランドシティ
降り口から約5分

【JRの場合】
雁ノ巣駅から徒歩
約20分

【バスの場合】
「航空管制部前」
バス停から徒歩約3分